

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	135	環境白書の作成と報告会の開催					
章	5	身近な環境に配慮した、地球にやさしいまち					
大項目	02	快適環境の保全と創出					
施策	01	環境施策の総合的展開と推進					
事業内容							
目的	環境基本計画の進捗状況を点検するとともに、環境保全の取り組みについて普及啓発を図っていきます。						
対象・手段	環境白書報告会を通して、環境行動指針の普及を図るとともに、環境基本計画の進行管理をします。白書報告会の中で問題点が出てきた場合には、ワークショップを開いて検討し、パネルディスカッションを行います。18年度には、ワークショップでの検討結果について区民等から広く意見を聞くため、シンポジウムを開催しました。						
成果(事業が意図する成果)							
環境基本計画の進行管理と環境行動指針の推進を合わせて行うことができ、一貫した環境政策の推進が図れます。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
環境白書の作成	環境白書の作成	(毎) 年度に					
		(1回) の水準達成					
環境白書報告会の開催	環境白書報告会の開催	(毎) 年度に					
		(1回) の水準達成					
		() 年度に					
		() の水準達成					
成果の達成状況							
	単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
事業 成果 指標	目標値 1	回	0.00	1.00	1.00	1.00	
	実績 1	回	0.00	1.00	1.00	1.00	
	= /	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
	目標値 2	回	0.00	1.00	1.00	1.00	
	実績 2	回	0.00	1.00	1.00	1.00	
	= /	%	0.00	100.00	100.00	100.00	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	環境白書を作成し、報告会を実施しました。						
平成18年度	後期の環境基本計画策定に向けて、「環境施策検討会」(ワークショップにあたる会議)を開催して環境基本計画の見直しを進めました。環境白書を作成し、「環境白書を読む会」(「環境施策検討会」のメンバーをパネリストとしたシンポジウムと、白書の報告会を兼ねた会)を開催しました。						

部名称		環境土木部		課名称		環境保全課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	29	516	300	473	
	人件費	千円	0	0	4,169	4,140	
	事務費	千円	0	0	0	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	29	516	4,469	4,613	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	29	516	4,469	4,613	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	29	516	4,469	4,613	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00	
職員	常勤職員	人	0.00	0.00	0.50	0.50	
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00	
事業に関する検討課題							
<p>区民・事業者・NPO等と連携、協働して環境基本計画の進行管理、見直しを行っていく必要があるため、「環境白書を読む会」への参加者をさらに増やしていくことが課題です。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	3	環境基本計画の進捗状況を把握するため、新宿区の施策や区民・事業者・NPOなどの取組みを環境白書としてとりまとめました。また、「環境白書を読む会」として白書報告会とシンポジウムを兼ねた会を開催しました。				
	効率性	3	今年度から、環境白書に資料編として公害測定結果や区の地球温暖化対策の取組み結果などを掲載したことにより、環境基本計画の進捗状況を点検するツールとしてより分かりやすいものになりました。				
	実施の成果	2	環境基本計画の目標達成状況を白書の中で明確にすることにより、課題を整理することができました。また、白書報告会の開催により、参加者との環境に関する種々の意見交換をすることができました。今後は、報告会の参加者数の増加が望まれます。				
	行政の関与	3	区民・事業者・NPO等と連携、協働して、環境基本計画の進捗状況を把握する必要があるため、区の関与は欠かせません。				
	妥当性	3	環境基本計画の進捗状況を環境白書によって点検するという手段は妥当であるといえます。また、白書によって明らかになった問題点を踏まえ、後期環境基本計画策定に向けた見直しが今年度から始まり、本事業の目的が着実に達成されつつあります。				
	施策寄与度	3	環境基本計画の中の、現実とずれてきた部分については、今年度から見直しをしていて、PDCAサイクルが機能しています。環境施策の総合的展開と推進が効率的に行われており、施策の目的達成に大いに寄与しているといえます。				
総合評価	環境基本計画に掲げられた施策の進捗状況を環境白書として公表し、広報紙、ホームページ等で募集を行なった区民・事業者・NPO等と検証することにより、環境施策の着実な推進と見直しを図ることができました。また、シンポジウムにおいて「環境審議会」に諮問をしている「環境基本計画の見直し」についても参加者からの意見を伺うことができました。						B 過年度評価 17年度 B 16年度 B 15年度 14年度
							方向性
改革方針	環境白書の無償頒布、ホームページ上での公開、区民・事業者等を交えた報告会のほか、シンポジウムの開催などにより環境施策を広く公表していきます。また、地球温暖化対策の推進を強化するための環境基本計画の見直しについて、環境審議会に諮問し、審議会及び環境施策検討会で検討を進めていきます。						4 拡大